

大雪渓大滑降

樽池～白馬岳～猿倉(2023/4/2-3)

L:M上、H口

岩岳スキー場の前を通ってギョッとした。雪は無くゴルフ場のような斜面が広がっていたのだ。これは4月頭の景色だろうか。

樽池スキー場でも下の方は雪が無い。ゴンドラリフトで上がらないとスキーができない状況だ。上はどんなだろう。雪はどこからつながっているかしら。

中間駅を過ぎても雪は途切れ途切れになっていた。ブッシュが出た斜面の向こうに白い白馬三山が並んでいる。早くあの白い所まで行きたい。

歩きだして1時間半で天狗原に出た。ザックを下ろしその上に腰掛ける。目の前には白馬乗鞍岳の斜面が立ち上がっている。そこを豆粒が列をなして上って行くのが見えた。数えると60粒くらい。結構な人数がいるものだ。

僕らも腰を上げて白馬乗鞍岳の斜面に取り掛かる。クローを付ける必要はなかったが斜面が立っているので雪面をちゃんと捉えないと滑ってしまう。一本調子の滑り台のような斜面なので高さが上がるほどしっかりと歩かねばならない。

頂上は所々ブッシュが出ていた。僕ら以外の人たちはケルンの方へ向かって行く。僕らは雪がつながっている所を選んで白馬大池側へ向かった。

白馬大池から板にクローを取り付け目の前に立ち上がる斜面に取り掛かる。左から回り込むが斜面が固いため慎重に足を運ぶ。稜線に出ると雪の質が変わり歩きやすくなった。

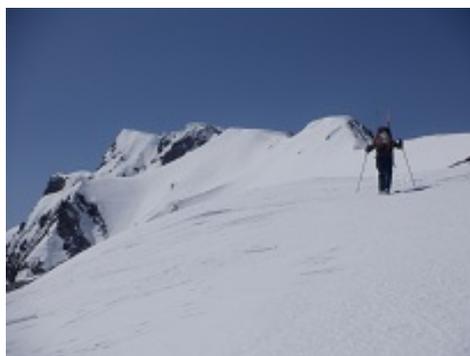
左下に金山沢を見て稜線を進む。ここからドロップインするトレースが何本もある。この斜面も良さそうだがあくまでもターゲットは白馬大雪渓だ。

小蓮華山に到着。風が強くなってきたので反対側へ下りるとテン場の跡があった。風除けのブロックをちゃんと積んであり、そこを使わせてもらって休憩を取った。奥には次の目標である白馬岳が見えている。

三国境までの間、北側の斜面には雪が無い。風に雪が飛ばされて付きにくいそうだ。岩が露出した所では板を外して越える。

三国境からは板を外しザックに取り付けシートラーゲンで行くことにする。アイゼンをカチッと着けて準備完了。

天気は良かったが下から吹き上げて来る風が気になる。アイゼンの爪を効かせて上って行く。2つ目のピークに上る所では風に加えて足場も不安定であったので雪面の足跡の通りに足を置いて行くがなぜか歩幅が広い。外人さんのステップだろうか。



白馬岳山頂に到着。標識の所で写真を撮った。

「やはり雪が少ないなあ。この時期来ると標識しか出てないのに台座まで出てる。」

風を嫌って山頂では長居せずに白馬山荘の方へ向かう。こちら側では風が弱まった。剣岳を正面に見て下って行くと白馬山荘の屋根が見えてきた。

白馬山荘前でザックを下ろしアイゼンを外した。後は下るだけだが、このまま急いで下るのはもったいない。杓子岳、白馬鑓ヶ岳が連なる景色を見ながらゆっくり過ごした。

板を履きザックを担ぎ、雪のつながっている所を選んで大雪溪の滑り出しまで移動した。白馬三山の真っ只中、この景色はたまらない。

いよいよ白馬大雪溪への滑降に入る。

「できるだけ左側選んだ方がいいよ。右側は杓子からの落石があるといけないから。」

M上さんが滑り出した。広い景色、広い斜面に大きなシュプールを描く。同じように気持ちよく滑りたい。よし、行こう。滑り出しの雪面は幾分固かった。エッジを効かせて板に乗る。快適だ。

M上さんが滑って、僕が続くを繰り返す。雪もだんだん緩んできて滑りのフィーリングがさらに良くなってきた。

岩室の辺りは幾分狭まり斜度が増す。下からアイゼンで上がって来る単独行がいた。彼の上に掛からないようコースを取った。



2, 700m付近から900m下った所で一本入れる。この辺り、両岸からのデブリが見られたがコースを塞ぐまでではない。

さすが大雪溪だけに先はまだまだ続いている。しかし次第に雪が重くなってきた。1, 450mまで下ると沢筋からのデブリが中心部を覆い、右岸の斜面に付いたトレースを辿って行く。板を外して越えねばならない所もある。

「普段ならこんな所滑って行けちゃうんだけどな。雪が少ないと厄介だ。」

下れる所まで下ってカニ歩きで斜面を上るとうまい具合に林道に出た。林道に付いたトレースを滑って行き猿倉に着いた。

少し休んだ後、再び林道を滑り出したが、間もなくショベルカーが除雪作業をしていてそこで板を脱ぐ羽目になった。ここから二俣までは板を担ぎスキー靴で歩いて行かねばならない。地図を見てもだいぶある。

1時間ほど歩いてようやく二俣に到着。休業中のおびなたの湯の前から電話をかけたタクシーを呼んだ。

(H口記)

自然園駅 (1:30) 天狗原 (1:00) 白馬乗鞍 (0:20) 白馬大池 (0:40) 船越ノ頭(1:20)
小蓮華山 (0:50) 三国境 (1:40) 白馬岳 (0:30) 大雪溪 (1:25) 猿倉 (1:00) 二俣